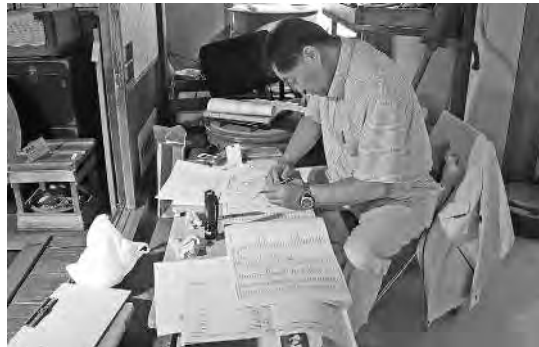


まちの歴史を伝えるために



1. 郷土資料館内で資料を撮影する山口宏樹さん 2. おもしろい資料も撮影。冬に楽しんだ？下駄スケート 3. 膨大な資料を整理する今西輝代教専門員

郷土資料デジタルデータ化の取り組み

町図書館は、郷土資料館に収蔵された昔の生活用具や仕事道具と写真やフィルムに残された記録などの町の歴史的資料を整理分類のうえ、劣化の進む資料についてデジタルデータ化し、情報発信していく事業を昨年度から3カ年計画で進めています。

現在、郷土資料館内で資料を撮影する作業を担当している図書館に勤める今西輝代教専門員とフォトスタジオ山口の山口宏樹さんにお話を伺いました。

一分類する資料はどんなもの？

今西 大きく分けて農業・林業・森林鉄道・生活・商業・工業・自然・旧石器・その他の9種類です。全部で6千点の資料を整理し、そのうち山

口さんが行う写真撮影は、1,410点。今年は10月までに700点を撮影します。

一資料整理作業について

今西 分類方法や資料の手入れなど一から始めました。用途不明なものもあり、使い方など調べることも多く、とても時間がかかる作業です。

一資料の撮影について

山口 この資料が、後世の人の眼にどう映るのかが楽しみです。自分たちがいなくなっても、写真データが残ると思うと、大事に撮らなくてはいけないと、一枚ずつ心を込めて撮っています。

デジタルデータ化した資料は、2年後に図書館やインターネットなどで閲覧できる予定。完成を目指し、二人三脚の作業はまだまだ続きます。

【お問い合わせ】図書館（☎52-3202）